



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2024/01/31

UNRWA これが実態だ！
国際支援の美名に隠れる貧困ビジネス
日本はハマスの金づるか??

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。1月24日水曜日、久しぶりに今年最初の天満橋バイブル倶楽部を行いました。私の講演そのものは約80分でしたが、その中身はズバリ、パレスチナ問題の決定版です。僕はもう、準備に準備を重ねて皆様にお届けしたいと考えていて、近日中にアップするつもりなんです。

が、一つ問題があるんですね。実は後半の20分、一番重要な聖書預言の解説の部分が、機械にトラブルがあってデータ無いんです。なので、その部分を聞くことができたのは、あの場所に来てくださった方々だけなんです。

しかし、それはあまりにも惜しいので、もう一度その部分だけ、このスタジオで撮り直してくっつけようか、あるいは中途半端なままでアップしようか、今思案中なんです。一番いいのは、もう一度撮り直して入れたらいいんですけど、祝福された講演の最中は、やっぱノッてるんですよ。冷静になって、もう一度やってくださいと言われてもね、なかなか簡単じゃないんです。同じことできません。

しかし、何とかしようと考えてます。少し時間が掛かるかもしれませんが、パレスチナ問題理解の決定版となっていますので、ぜひ天満橋バイブル倶楽部、YouTubeでご覧いただきますように心からお願いします。

さて今日は、お話しの前に1本の映画をご紹介します。



『ビヨンド・ユートピア 脱北』。
ビヨンドには“〇〇を越えて”という意味があります。
ビヨンド・ユートピアは“ユートピアを越えて”。
この場合のユートピアは北朝鮮のことです。
“北朝鮮は地上の楽園だ”という、嘘ごまかしの情報がまかり通ったことがあったんですね。

でも実際、北朝鮮の内部に何があるのか。密告社会でしょ。拷問があり、金正恩（キム ジョンウン）を神として崇め、疑いを掛けられた人たちは、ナチスの収容所を模した政治犯収容所に入れられて、拷問されたり、処刑されたり、餓死したり…。地上の生き地獄ですよ。

それで、もう我慢できない。生きるか死ぬか分からないけど、このまま生きててももう仕方がないということで、命がけで死ぬような思いで国境を突破し、北朝鮮を出て、最終的に韓国に入ろうとしている人たちがいるんです。この人たちを脱北者といいます。

この映画は、脱北者を支援している韓国人牧師の物語です。
物語といっても作りもんじゃない。実話に基づいた物語じゃなくて、ドキュメンタリーなんですよ。

ある時、この牧師のところに、脱北者を支援している人から電話が掛かってきます。
「2人の子供と80代のおばあちゃんを含めた5人家族が、北朝鮮の国境を出るのは出たけど、当局に追いかけてられていて途方に暮れている。連れ戻されたら、もちろん処刑だ。なんとか助けてほしいという SOS が来た。動いてくれ！」

それで、この牧師が一肌脱いでいくんですが、今北朝鮮でどんなことが起こっているのか、その真実を伝えるために、隠しカメラと携帯で脱北の全行程をずーっと撮影して、その映像を編集したものなんです。つまり、作り話じゃないんですよ。実話に基づいた作り話でもなくて、ドキュメンタリーです。

色んな賞を取っている非常に良い映画なんですけど、内容重しエンタメじゃないので、残念ながら客の入り悪いんですよ。客の入りが悪ければ、すぐに上映期間が無くなってしまいます。これは1月12日から始まってますが、そろそろ打ち切りの可能性、ヤバイんですよ。

それで皆さん、もし時間があったらぜひご覧いただいて、私たちのお隣の国 北朝鮮でどんなことが起こっているのか。そして、その北朝鮮に、我らの同胞が900人以上拉致されていることを、ぜひ思い返していただきたいのです。

さて、今日私がお伝えしたいのは、今から6日前に挙げた前回の動画についてです。
「UNRWA (アンルワ) はハマスの巣窟になっている。UNRWAの職員の中にハマスのテロリストたちが入っていて、UNRWA 経由で入って来るお金は彼らのポケットに入っている。こんなものを援助し続けるのは、けしからん話じゃないか」と言ったんです。

先週の土曜日ですか、とうとうイスラエルが、国連事務総長に詳細なデータを出しました。UNRWA の職員のうち少なくとも12人、その中の少なくとも9人は特定ということで、彼らが10月7日、テロ要員としてイスラエル本土に入ってきてテロをやったんだ！という証拠を出したんですね。
それで、9人はすぐに解雇されました。

それが分かった後、特に UNRWA にたくさん支援していた先進国が、軒並み支援をストップ。ヨーロッパ・アメリカ・カナダ、減額だったアメリカも完全ストップ。そんな中、日本は増額と言ってたんですけど、あんまりにも非常識すぎるということや、色んな突き上げ、多分飯山（飯山 陽/いいやま あかり）さんの発言が大きかったと思うんですけど、遂に「一時的に停止する」と言ってるんですね。

今回イスラエルが出したデータは非常に詳細なものです。
10月7日、テロリストたちが約3000人、イスラエル本土に入りました。
イスラエル国内には何十万台という監視カメラがあるんですよ。

日本も一緒です。日本のほうが台数多いかもしれませんね。広いから。監視カメラの中に、人の顔のデータ取りをするカメラがあります。写っているテロリストたちが誰で、何という名前で、どんな素性なのかを割り出すことができる。そうしたら、国連の職員たちがたくさん出てきたというんです。

今疑いが掛かっているのは UNRWA の教師 3300 人以上。これからまだまだ出て来ると思いますよ。UNRWA はパレスチナ難民救済事業団という名前ですが、実体は、パレスチナ自治政府やハマスのテロリストということなんです。

今回イスラエル側の情報提供で UNRWA が注目を浴びたので、世界がそれを詳細に調べ出すようになって、闇が次々暴かれるようになったんです。今日は、日本ではなかなか報道されていない UNRWA の闇についてご紹介します。

写真を何枚か見ていただきますが、これから出す情報は『パレスチナ・メディアウォッチ』というサイトから取ったもので、私がいつも利用しているサイトです。

パレスチナメディア、すなわち、パレスチナ自治政府が発行している新聞や、放送しているラジオ・テレビ、アップしている YouTube ・ SNS などの様々な情報はアラビア語なんです。私たち普通の者にしてみれば、チンプンカンプンなんです。このアラビア語を英語に翻訳してくれているのが『パレスチナ・メディアウォッチ (PMW) 』です。

ここは翻訳しているだけ。このサイトが自分で探しに行ったんじゃないんで、一次情報、パレスチナ自治政府自らが言っていることです。

1 枚目。これは、"パレスチナ人のテロリストが、イスラエル軍やイスラエル警察に捕まって刑務所に入れられた時、パレスチナ自治政府は、テロをやった報奨金と月々のお手当てを出しています。そのために UNRWA に入ってきたお金を使っています" というデータです。



刑務所に入っている期間が 3 年以下の場合は、毎月 1400 シェケル/400 ドル/6 万円くらい。3 年-5 年服役なら 573 ドル。5 年-10 年、10 年-15 年と、刑務所に入っている期間が長ければ長いほど月々のお手当てが上がって、30 年以上になると 3438 ドル/21 万-22 万円くらい。

テロをやった刑務所に入ったら、自治政府が毎月毎月お手当てを出してくれる。

それ以外に、妻帯者なら妻一人につき 86 ドル/1 万 3000 円くらい。

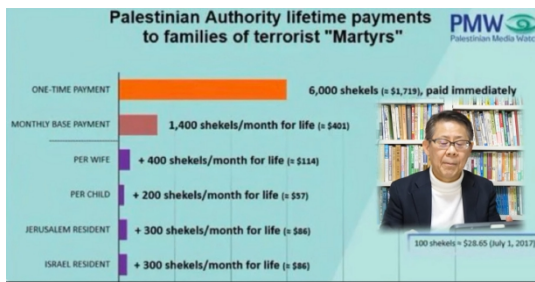
子供一人につき 14 ドル/2100 円くらい。

住んでいるのがエルサレムなら 4 万 5000 円。エルサレム以外なら 7 万 5000 円。

毎月お手当てがある。つまり、テロをやった時にご褒美が出るんです。

テロをやった路頭に迷うのではなく、テロをやるとパレスチナ自治政府が「ようやった！」とお金を出してくれる。

2枚目はテロリストが Martyrs（マターズ／殉教者）になった場合。



自爆テロリストが死んだ場合は、一括で6000 シェケル／1719 ドル／26 万円。

自爆テロリストや殉教者を出した家には、毎月 400 ドル／6 万円。

妻一人あたり 1 万 7000 円。

子供一人あたり 8500 円。

住居手当として 1 万 3000 円。

その上、町やビル・通り・橋に自爆テロリストの名前を残して記念にする。英雄扱いにする。これが、パレスチナ自治政府がやっていることです。

これは 10 月 7 日のテロも同じで、パレスチナ自治政府はその日の段階で、イスラエルの攻撃で死亡した 1500 人のハマス・テロリストに 4 億 2 千万円払ってます。

人殺しをやった時、ご褒美のお金を出している。

そのお金はどこから出ているのか。UNRWA に入っているお金からです。

その UNRWA にたくさんのお金をお出ししてるのが日本政府なんですよ。

日本政府からのお金はテロ支援金になってるんです。

テロリストにお金が支払われるシステムが出来上がっているんですね。

これは、ずいぶん前から分かっていることだったんです。

分かっているから、EU はずいぶん前から UNRWA にお金を出してません。

EU が問題にしたのは、パレスチナ自治政府が作っている教科書が酷すぎることに。

例えば、小学校低学年の足し算は、「家にりんごが 3 つありました。お兄さんが果物屋さんに行って、りんごを 5 つ買いました。りんごは全部でいくつになったでしょうか。」「3+5 で 8 個。」これ日本の算数ですね。

パレスチナ自治政府が作っている教科書は、「僕はユダヤ人を 3 人殺しました。お兄さんはそれでは足りないと言って、ユダヤ人を 5 人殺しました。全部でユダヤ人を何人殺すことができましたでしょう。」そんなんですよ！

小学校低学年で、イスラエルへの憎しみを培うような内容の教科書を使って、全科目にわたって教育をしている。これで和平ができるわけじゃないじゃないですか。あまりにも悪意に満ち満ちている。

これは子供たちに教えるのにけしからん内容で、UNRWA に入ったお金でそんな教科書を作っているなら、我々は協力できないということで、EU としては出してないんです。

EU 加盟の先進国が各国個別にお金を出すことはあったんですが、今回の UNRWA のハマスのテロが分かったので軒並み中止。

アメリカも大幅減額していたけど完全ストップになった。

日本は20年間に23億ドルの支援をしました。4300億円ものお金をUNRWAに流してるんです。日本がUNRWA（パレスチナ難民救済事業団）にお金を送り出して、支援し始めて70年以上です。70年ですよ！これちょっと、考えてほしいんです。70年間外国から莫大な支援を受けて、いまだに立てない。それちょっと、支援の仕方を間違ってるんじゃないですか。

介護の世界、例えば、老人介護で過剰にお手伝いすることで、本来その人が持っている筋力を使わなくなっていて、もっとダメになることあるじゃないですか。子供たちは教育するために支援する必要がありますが、甘やかしすぎると自立を妨げるってこと、あるじゃないですか。

70年間ですよ！莫大な天文学的なお金をずーっと流し続けてね、いまだに立てないんです。支援の仕方がおかしいんじゃないんですか。そもそもお金の使い道について、もっともっと詳しく査察すべきじゃないんですか。

実はUNRWAには監査役があります。パレスチナ自治政府がやってるんですよ。使う人とね、使い道を見張る人が同じって、こんなん監査って言わないんですよ。そんなところにお金をずーっと出すって、まさに日本はカモにされてるんです。もういい加減にしてください、それは。

そういうことを考えた時、貧困ビジネスという言葉思い出しますよ。日本の中の反社会的な組織が、ホームレスの人たちに「生活保護の代行業務をやってやる」と言って、毎月振り込まれる生活保護からピンハネするんです。自立のために自分たちでやって行こうとするのを一切させない。

だって、自立したら生活保護のお金、途切れるじゃないですか。ピンハネできないじゃないですか。自分たちがピンハネするために、いつまでも貧しいまま、自立できないままの状態に押し込めることがビジネスモデルになっている。これを貧困ビジネスというんです。

それから、善意につけこむというのもありますね。生活保護を受けると医療費タダですよ。本当に必要としている人は、それを貰うのはいいんです。だけど中には、医療費がタダということを利用して、向精神薬とか抗うつ剤というものをたくさん処方してもらって、自分が飲むんじゃなくて高値でネットで売る。最低限の生活ができますようにという善意につけこんで、それを金儲けの手段にしている。日本の中でも、そんなブラックなビジネスがあるじゃないですか。やっちゃいけないことがあるじゃないですか。

パレスチナ難民救済事業団へのお金は、パレスチナ人が難民状態にあることによってはじめて、受け取ることができるお金なんです。パレスチナ人が国を持ってしまったら、すなわち難民でなくなってしまうたら、お金がストップして、ピンハネできなくなるんですよ。

それで分かるんですよ。パレスチナのリーダーたちは、今まで国を造るチャンスが4回以上あったんです。今サインしたら自分たちの国ができる！という決定的なチャンスの時に、いつもサインしないで降りる。「もう私たちはそれをしない」と。中東和平でなぜパレスチナが国を持っていないのかというと、イスラエルが持たせないようにしてるんじゃないんですよ。

どんな法律もどんな国際支援も、自ら難民で居続けようと思っている人たちに、国を持たせることなんかできるわけじゃないじゃないですか。

自分たちが独立したいと建設的に活動する・動くことがない限り、よその人たちの意向で国を造ることなんてことはできないんですよ。これが一番大きな原因です。

一般のパレスチナ人の中には、国を持ちたいと思っている人がいるでしょう。

しかし、パレスチナ人が難民であることによってボロ儲けできる。

この蜜の味を知ってしまった指導者たちは、難民状態に押し込めていくことで自らを肥え太らせている。これが、今のビジネスの形になっているのではないかなと思います。

これはハマスだけじゃないですね。今のパレスチナ自治政府の代表 アッバスがやっていることです。アッバスはパレスチナ自治政府の代表として、例えばアメリカのニューヨークで演説する機会がありますよね。

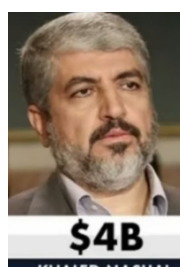
パレスチナ自治政府は国じゃない。国じゃないけど、国連でオブザーバー組織として認められてるんです。だから、国連総会でみんなの前で演説するチャンスがあるんですが、その時ヨルダン川西岸からニューヨークまで、どうやって行ってると思いますか。プライベートジェット機ですよ。6000万ドルするプライベートジェット機。超豪華。90億円のプライベートジェット機に乗ってニューヨークに行く。

なんで、90億円のプライベートジェット機を私物で持ってるのが、難民の代表なんですか。私のYouTubeを見ている人の中で、プライベートジェット機持ってる人いますか。プライベートママチャリやったら持ってるでしょ。

プライベートジェット機ですよ。セスナじゃない。どこの国の王様ですか！

そう、王様のような生活することができるんですよ。

パレスチナの人たちを難民状態に留め置くことによって。



彼らはハマスの幹部です。
左からイスマエル・ハニエ。
4ビリオンドル。ビリオンは10億だから40億ドル/6000億円。
中央のマシャールも6000億円。
右側のマルズーク、前に紹介しましたが、30億ドル/4500億円の

個人資産を持ってる。彼らだって難民認定受けてるでしょ。

なんで、難民が6000億円もお金持ってるんですか。おかしいじゃないですか。

どうやって、このお金は来たんですか。その一部には、間違いなく UNRWA から入ってるんです。その UNRWA に、何があってもお金を注ぎ続けて来たのが日本なんですよ。これまさに、カモにされてるじゃないですか。

私たちは今回のことで、今まで聞いてきた物語・神話に目を覚ますべきだと思いますよ。すなわち、パレスチナの人たちはみな、貧しくて苦しくて弱くて虐げられていて…という。

そういう人たちも、中にはいるでしょう。だけど、国ができない本当の理由は、イスラエルが国を与えなかったのではないんです。パレスチナの人たちの上にいる者たちが、彼らを難民状態に留め置いていることが一番大きな理由ですよ。

弱い立場の人 = 正義という考え方は、そろそろやめたほうがいいです。弱い立場に見えて実は悪を行っている場合があるし、強い軍事力を持っていて正しいことをやっている、当然の権利を主張していることもあるんですよ。弱い者はいつも正義だというリベラル思想に対して、もうそろそろ目を覚ますべきではないかなと思います。

パレスチナ問題の詳細・肝の部分は、天満橋バイブル倶楽部でお話ししました。近々、できるだけ早くアップしますけど、今まで聞かされてきたことは、都市伝説というか単なる物語であって、本当のところはどうだったのかということをお話していますので、ぜひご覧ください。

このパレスチナ問題の本質については次回もご紹介しますので、ぜひ続けてお聞きください。

チャンネル登録といいねボタン、やる気出ますんでね、お願いします。
ではまた、ごうちゃんねるでお会いしましょう。
皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

.. 00.. 0.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00.. 00..